

# 国東と暮らす

## 動き始めた 伝承・活用

国東市内や国東半島宇佐地域で、世界農業遺産を伝承、活用する取り組みが始まりました。その一部を紹介します。

### 世界農業遺産を巡る ウォーキング

4月27日、旧大恩小学校区（富来区・大恩寺区・藁藪区）の全世帯で組織する地域おこし協議会文溪里の会主催による「第1回世界農業遺産と名跡を巡るウォーキング」が開催されました。会員のみなさんが、ほだ場やクヌギ林、ため池や集水路のほか、富来神社や



▲文溪里の会事務局長の石田幸人さん(左)ら会員の案内で歩く参加者のみなさん



▲クヌギ林とため池を巡る

富来城跡などを巡るコースを設定。会長の秋吉文隆さん（藁藪区長）は、「他の地域に先がけて世界農業遺産を巡るウォーキングを企画しました。地域に残る古い歴史や文化とともに関心をもっていただきたい」と話しました。当日は市内外から約70人が参加し、約7キロを歩きました。終了後には、あたたかいシン鍋のおもてなしと、乾シイタケのつかみどりも行われました。

### 世界農業遺産を食す春野菜のタベ くにおさき農育ファミリー プロジェクト

国東野菜の魅力を広めようと、安岐町内の若手農業後継者グループがプロジェクトを立ち上げ5月17日夜、町内のレストラン「集いの里な・菜」で食事を開きました。シイタケや小ネギ、スナップエンドウなどの春野菜が、グラタ



▲生産者自らが給仕し野菜の魅力を伝えた



▲これからの農業を担うみなさん

ンや天ぷら、寿司などの創作料理となつてテーブルに運ばれ、参加者は楽しいひとときを過ごしました。生産者の清末隆文さんは「野菜のおいしさを直接お客様に届けたという思いで企画しました。みなさんに満足していただけて、これからの励みになります。9月と11月も予定しているのでぜひ参加してほしい」と話しています。

### 国内外の有識者が講演 世界農業遺産国際セミナー



▲中国の世界農業遺産事務局長による基調講演

世界農業遺産の認定1周年を記念した国際セミナーが5月15日、豊後高田市のホテルで開催されました。国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会と九州大学の共催で、地域住民など約140人が参加しました。セミナーでは、中国や韓国、フィリピン出身の研究者らが自国における世界農業遺産への取り組みなどを紹介。参加者は世界農業遺産の認定は、国際的価値の高いものであると改めて認識しました。



▲会場は関心を持つ参加者で満員

### 世界農業遺産登録から一年を迎えて

国東半島宇佐地域  
世界農業遺産推進協議会  
林 浩昭 会長

世界農業遺産の活用にはさまざまな可能性があり、国東の農業にとって何が最適であるかを考えていく必要があります。今年からはシイタケと七島イのブランド化も始まりますので、期待を寄せています。農業遺産を巡る観光ツアーの企画や、Uターン・Iターンで国東半島を訪れてくれる、帰ってくる人を増やす取り組みをしたいと思っています。



### 世界農業遺産

## 耳より情報

もう会えましたか？  
乗りましたか？ 国東号



国東市とソラシドエアが取り組む「空恋プロジェクト」で、昨年12月から「世界農業遺産の里 国東号」が飛んでいます。機内には国東の魅力を紹介したオリジナル機内誌（市役所職員有志で作成）もあり、全国の空で国東市をアピール中！

### 大分農業文化公園に 特設コーナー



杵築市山香町にある大分農業文化公園で、世界農業遺産の特設コーナーがオープン。国東半島の地形を再現した模型（ジオラマ）と、映像による解説で楽しく学ぶことができます。七島イの織機も展示。入場無料。

### OBSラジオで 世界農業遺産番組放送中



国東半島宇佐地域の農業や食文化を広く県民に紹介する番組「守ろう！生かそう！世界農業遺産」がOBSラジオで放送中。毎月1回、第2土曜日、午前10時40分から15分間。6月の放送は14日(土)です。